さめがわ

［広報］

1 January 2019

第777号

平成31年1月1日発行（毎月1日発行）

Public Relations SAMEGAWA



■特集

修明高校鮫川校 創立70周年企画

「高校があって良かった。」

鮫川小学校1年生に今年の干支を書いてもらいました

さめがわ［広報］ Public Relations SAMEGAWA 1 January 2019

平成31年1月1日発行（毎月1日発行）
第777号（昭和27年9月創刊）

発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み Episode_31

國島義麿さん　寿恵さん

富田字鍬木田／1968(昭和43)年3月結婚

旅行やドライブが好きな國島義麿さんと寿恵さん。結婚して50年経った今でも、買い物や外食、遊び、どこへ行くのも一緒だそうです。「旅行はいつも計画しないから、申し込みもぎりぎり。けれど、着の身着のままというのも楽しいです」と笑います。

そんな仲睦まじい2人の出会いはお見合いでした。初めて会ったときに共通の友人の話で盛り上がり、意気投合。交際期間を経て、村公民館で結婚式を挙げました。「実は私たちが公民館で結婚式を挙げた第1号なんです。当時は自宅で親族だけの挙式も多かったのですが、公民館ということで盛大に行ったことを今でも覚えています」と、義麿さんは振り返ります。

「この50年で一番うれしかったことは子どもの結婚式でした。今では孫も大きくなって、今年は受験も控えています。じぃじばぁばも応援しなくちゃ」と寿恵さん。だんだんと孫に会える機会が減って寂しい反面、成長する姿が楽しみだと言います。

さて、2人の夫婦円満の秘訣はいったい何なのでしょう。義麿さんは「怒っても根に持たないこと。ケンカは派手にやることもあったけど、尾を引かせないことが大事」と笑います。「ケンカした後も、職場や家庭でずっと顔を合わせるんだから引きずってる暇はありません」と寿恵さんも目を細めます。

結婚してから今日まで無我夢中であっという間だったという2人は「一緒に元気に50年過ごせて良かったね」とにこやかに顔を合わせます。

皆さまには、輝かしい新年を迎えられましたこと、心からお喜びを申し上げます。

村政に対しましては、深いご理解と多くの方々にご参加いただき深く感謝を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、夏には日本列島が猛暑に襲われ、国内でも40℃超えの最高気温など、各地でこれまでの記録を更新する年でした。それでも本村では、最高気温が7月23日の34・6℃、また、最低気温は熱帯夜と言われる25℃超えはなく、8月24日の24・5℃が最も高い気温であり、都市部と比べますと過ごしやすい気候でありました。

これらの好天とともに、全国的に大きな災害が発生する中、本村においては大きな災害を受けることなく、水稲をはじめ農作物は順調に生育し収穫の秋を迎えることができました。収穫時期の9月以降は晴天が続かず、コンバイン作業など収穫作業が遅れるというアクシデントがありましたが、品質、収穫量ともに平年以上を確保できましたことは喜ばしいことであります。

さて、わが国は少子・高齢化社会を迎え、日本の人口は平成18年をピークとして減少時代に突入しています。本村も少子・高齢化が進み、生産年齢の人口が減少していますが、これまで先人が築いてきた鮫川村を後世に継いでいくことが私たちの責務と考えて各種の施策を展開してまいりました。



住んでみたい 住み続けたい と思える村づくり

鮫川村長 大樂 勝弘

昨年は見渡地内の旧工場跡地を宅地分譲地として整備し、議員さん方とも協議し分譲地は可能な限り低価格で分譲することといたしました。これに加えて、20年間住み続けた購入者に対しては購入価額相当額を奨励金として交付する制度を、また、住宅建築に対しても奨励金を交付する制度を創設しました。新年早々から仮予約を受け付けしますのでお申込みいただければと思います。

農林業・商工業を中心とした産業の振興、安全で安心して暮らせる村、里山景観の美しい人が集まる魅力ある村づくりなど、鮫川村に住んでみたい、今後もふるさと鮫川村に住み続けたいと思える村づくりに努力してまいる所存でありますので、皆様方の積極的なご提案、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年も皆様にとりまして最良の年になりますことをご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

新年あけましておめでとうございます。村民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は日本列島の各地で異常気象など災害が多かった年でありました。夏の猛暑や毎週のように訪れた台風のほか、多くの犠牲者を出した西日本豪雨、北海道胆振東部での地震災害は皆さまの記憶にもまだ新しいことでしょう。一方村内では、春に青生野小学校が閉校を迎えました。学校の歴史が途絶えてしまったことには、非常に寂しさを感じています。しかし、村の子どもたちには新しい環境で前を向いて学びに励んでいただきたいと思います。

そして、明るいニュースもたくさんありました。まず、村消防団が金ばれんを受賞しました。これは消防団を組織して71年目にして初の快挙です。それも、東白川地域の表彰とダブル受賞です。歴代の消防団員の方々の活動が評価されたことをうれしく思います。さらには、前団長水野一美氏の瑞宝双光の受賞や現団長渡邊浩佳氏の綬褒章と、村消防団をけん引する団長の活躍も素晴らしいものです。最近の出来事では、福駅伝で鮫川チームが総合28位敢闘賞を受賞しました。選手たちの頑張りは村に活気を与えくれました。

今、村の抱える課題として人口の減少があります。かつ8000人以上いた人口が今3400人程度まで減少しました。しかし、人口の減少は全的な問題であり、鮫川村だけの話ではありません。減少す人口を悲観するよりも、今、に住んでいる皆さんが元気のるような施策を打ち出していたいと考えています。

さて、今年は平成が終わり元号が始まります。消費税10％へ移行する年でもありす。村では議員選挙や村長選も控え、大きな変化の年になことが予想されます。だからそ、目先のことにとらわれず将来のビジョンをしっかり持て何事にも取り組んでいかなければならないと感じているところです。

私たち鮫川村議会は、村民の代表としての認識に立ち、皆さまのご意思を村政に反映させるべく全力を傾注して参ります。どうか本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びにあたり、この1年が皆さまにとって明るく素晴らしい年となりますよう、また村民皆さまの益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



今年は変化の年 将来の展望を持つことが大切

鮫川村議会議長 星 一彌

【特集】

修明高校鮫川校 創立70周年企画
「高校があって良かった。」

創立70周年を迎えた県立修明高等学校鮫川校は、これまで地域を支え、地域に支えられ、学校の歴史を紡いできました。高校の存続が危ぶまれる中、小規模校の今を見つめます。

村に学びの場を

県立修明高等学校鮫川校は、昭和23年4月に県立東白川農業高等学校定時制課程分校として産声をあげました。

当時はまだ戦後の混乱期。山村の鮫川村では小学校6年の義務教育後、進学するためには村を出なければならず、経済的な負担などから進学できる人は限られていました。初代分校長の石田卯子八氏（後の13代鮫川村長）は後進のため、村の発展のために強い思いで村内への高等学校分校の誘致に尽力されました。そうして、村公会堂を校舎としていた青年学校を基礎に、定時制学校として40人の生徒とともに、村の高校の歴史が始まりました。

その後の鮫川校は、地域の支援を得ながらさまざまな困難を乗り越え、昨年創立70周年を迎えました。現在64名の生徒がここで勉学に励んでいます。生徒数は決して多くありませんが、大規模校ではできないきめ細やかな指導と地域の連携によって、生徒たちは健やかに成長しています。




放課後の部活風景


普段の授業風景

■鮫川校の沿革

昭和23年4月1日	福島県立東白川農業高等学校定時制課程分校として鮫川公会堂に設置。
昭和23年7月31日	福島県立塙高等学校独立に伴い、福島県立塙高等学校鮫川分校となる。校舎を指導農場跡（現在の鮫川村役場の隣接地）に移す。
昭和28年	新校舎第1期工事落成。
昭和32年	校庭拡張、洋裁室移転、住宅移転、水道完成。
昭和36年	農業科募集停止
昭和37年	塙高校より東白川農商高等学校に移管、福島県立東白川農商高等学校鮫川分校と改称。農業科募集復活。
昭和44年	全日制農業科となる。
昭和47年	旧鮫川中学校校舎に移転、全日制普通科に転科となる。
昭和54年	創立30周年記念式典挙行。
昭和58年	新校舎落成移転。現在の校舎となる。
昭和59年	校舎落成式典挙行。
平成10年	創立50周年記念式典挙行。（校門・校歌碑建立）
平成20年	福島県立東白川農商高等学校鮫川校と改称。
平成21年	福島県立東白川農商高等学校と福島県立棚倉高等学校の統合による新設校・福島県立修明高等学校鮫川校と改称、現在に至る。

振り返れば良い思い出ばかり 当時が懐かしい



昭和61年度卒業生
藤田 芳明 さん
（赤坂西野字岡田）

自身だけでなく2人の息子が鮫川校を卒業し、3人目も在学中。「学校が家から近くて良いね」と通学時間のメリットを話す。

私が入学したのは今の場所に校舎が移転した年でした。新しい校舎は新鮮で、今でも学校に行けば当時のことを思い出します。同級生は20人程度で、学校の規模は今と同じくらいでしたが、生徒のほとんどが鮫川出身でした。軟式野球部ができたのもそのときで、勝てないながらもみんな一生懸命で、毎日が充実していたことを覚えています。昔から鮫川校では先生との距離が近く、私は部活後に先生と一緒に校長室でテレビを見ながらご飯を食べたこともありました。気軽に先生と関わりあえる環境は鮫川校の良いところだと思います。

成長していく生徒の力は 素晴らしいよね



鮫校生の農業を指導
鈴木 寛重 さん
（西山字馬場）

10年以上にわたり鮫川校の大豆栽培や自然体験を指導。昔ながらの農法などを通じて、自然と触れ合う大切さを教えている。

鮫川校の生徒は素直で良い子たちばかりです。この年代の子どもたちの成長は著しく、春に入学した1年生でも秋に収穫を行う頃にはしっかりと力をつけていることがわかります。3年生にもなってくると立派なものですね。こういった成長は、一朝一夕になされるものではありません。日頃から生徒一人ひとりが頑張っていることが伺えます。生徒たちには、大きくなって家庭を持ったときにでも野菜作りの経験を思い出して、また土と触れあってほしいです。このような体験は普通の学校ではなかなかできないことだと思います。鮫川校は本当にいろいろ頑張っているなぁと、感心するばかりです。





左_生徒とともに大豆の収穫作業を行う寛重さん／**右_**今年の1年生が収穫した大豆。丸々と立派な大豆ができました

今までと違う自分になったと実感

「鮫川校に来て良かった。」

かつての自分を見つめ、将来を描く生徒たち。
修明高校鮫川校に通う生徒一人ひとりに成長の物語があります。

諦めない自分になれた



修明高校鮫川校2年
軟式野球部兼文芸部所属
清水 龍馬 さん

鮫川校の軟式野球部の部員は、現在わずか1名です。一人で練習する清水龍馬さんに活動について聞きました。

――一人の活動について、どのように感じていますか

心配してくれる人もたくさんいましたが、自分でできるトレーニングもありますし、顧問の先生2人も以前と変わらず指導してくれるので、活動は充実しています。助けてくれる友達もいて、楽しく放課後を過ごせています。

――高校に入って変わったことはありますか

高校に入って一番変化したのは体型です(笑)。高校に入って6~7キロ減量しました。それと、自分の意識が変わりました。中学の頃の自分はめんどくさがりで、すぐに諦めることが多かったのですが、高校に入り野球部などで活動するうちに、最後まで頑張れるようになりました。

私は将来、陸上自衛隊への入隊を目指しています。そのためにも、今から部活で体作りを頑張っていきたいです。



黙々とトレーニングに励む清水さん

自信が持てるようになった



修明高校鮫川校2年
生徒会長
佐藤 心治 さん

鮫川校で生徒会長を務める佐藤心治さんに学校の魅力について聞きました。

――鮫川校の良いところは

一番は、先生たちが親身になって勉強や部活、進路に関する活動を支援してくれるところです。親しみやすい先生方ばかりなので、一緒にいて楽しく、何でも気軽に相談することができます。生徒のことをいつでも第一に思ってくれている、という安心感があります。

また、部活などで校外を走っていると、地元の人があいさつをしてくれます。これは、中学時代には考えられなかったことです。地元の方々と取り組む行事もあり、地域の皆さんに見守ってもらっていることを実感する日々です。

クラスの生徒数は少ないですが、これまでの境遇が似ている人が多いせいか、共通の話題も多く、話しやすい雰囲気に包まれています。

――鮫川校への思いについて

私は、先生に勧められて生徒会長に立候補しました。もともと人前で話すことが好きでしたが、生徒会長となったことで自分に自信が持てるようになりました。中学までは正直、適当に生活してきたと思います。勉強もどうでもいいと感じていた時期もありました。しかし、高校に入り先生方とやり取りをする中で成長し、変わることができました。最近では、小規模校がなくなってきていると聞きます。鮫川校も例外ではないのかもしれません。しかし、鮫川校には、ここにしかない良さがあります。できることなら、10年後、20年後も残って欲しいと思います。

INTERVIEW

個々に応じた指導が重要
生徒の成長は地域の輝きです



県立修明高等学校 **安田 修久** 校長

今年度、おかげ様で修明高校鮫川校は創立７０周年を迎えることができました。11月に行われた記念行事には、鮫川中学校の生徒の皆さんをはじめ多数の方々にご来場いただき、大変うれしく思っています。

戦後間もない創立当時、村に高校を誘致するにあたっては、相当なご苦労と初代分校長である石田卯子八元村長をはじめとする多くの方々の熱い思いがあったことは想像に難くありません。当時の関係各位のご努力には、私も感じ入るものがあります。

そもそも高校の分校は、遠方の高校へ進学することが難しい生徒に高等学校の教育を受ける機会を提供することを目的に設置されたものであり、平成の初めの頃までは在籍者のほとんどが鮫川村在住・出身者で占められていました。しかし時代が移り、少子化等中高生を取り巻く環境が分校創立当時より大きく変化した現在においては、「鮫川村の生徒のための高校」から「鮫川村と東西しらかわ地区、さらにはその近隣地域の生徒のための高校」へとその存在意義を大きく変えつつあります。遠く白河市や西郷村から通いながらも、鮫川校に自分の心の居場所を見つけ、活き活きと高校生活を送っている生徒の姿を目にするたび、地域の持つ力、自然の持つ力のすごさを強く感じます。

鮫川校では小規模である利点を最大限に活かし、生徒一人一人を大切にする丁寧な教育を展開しています。上級学校への進学を希望する生徒や各種検定の合格を目指す生徒への指導はもちろん、学習面や対人関係の面で中学校時代につまずいてしまった生徒や周囲に馴染めない生徒等に対しても、個に応じたきめ細やかな指導を行っています。このことは規模の大きい他校にはなかなかまねの出来ない、鮫川校ならではの特色だと私は思っています。

福島県では今年度新たに「県立高等学校改革基本計画（２０１９年度～２０２８年度）」が策定されました。これにより、県立高校の統廃合が今後進むことが予想されます。そのような時代の流れの中、これからはこれまで以上に鮫川校の存在意義を広く打ち出していくことが求められます。私たち鮫川校の教職員は、これからも地域で活躍できる人材を数多く輩出することを通して、地域に元気を発信していきたいと考えておりますので、鮫川村の皆様におかれましては、引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願いします。

村×高校
地域にもたらす相乗効果

鮫川校に通う生徒は、「自然いっぱいの鮫川村が好きです」と口をそろえます。街から離れた学校の立地は、生徒たちが安心して過ごせる場所として大きな役割を持っています。同様に、近隣の市町村から若者が来ていることによって村には活気がもたらされています。かつての村民の熱い思いで設立された学校は、今もここに息づいています。

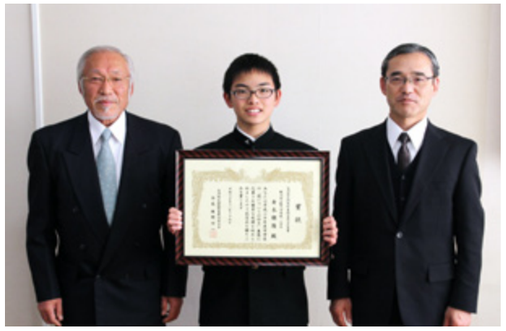
「税についての作文」「人権作文コンテスト」

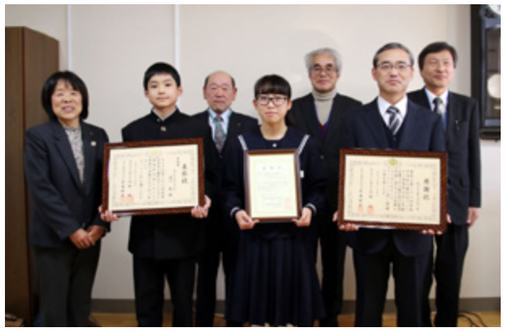
鮫中生3人が表彰

鮫川中学校の舟木朝陽さん(3年)と木村天音さん(3年)、緑川凱さん(1年)が、作文で表彰を受けました。

舟木さんは「税についての作文」で白河地区納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました。11月29日、鮫川中学校で村納税貯蓄組合連合会の松本一治会長から賞状の伝達が行われました。

木村さんと緑川さんは全国中学生人権作文コンテスト福島県大会でそれぞれ受賞。木村さんは、福島地方法務局白河支局長賞、緑川さんは福島県大会奨励賞を受賞しました。12月18日に福島地方法務局白河支局の大竹健一支局長から2人に賞状が手渡されました。人権作文は村教育委員会発行のこころのうたにも掲載しています。





上_受賞を喜ぶ舟木さん（中央）／下_受賞した緑川さん（左）と木村さん（中央）。後ろに並ぶ人権擁護員の皆さんと大竹支局長（右奥）。鮫川中学校（西田英実校長）には感謝状が渡されました（右）

旧青生野小学校の活用へ

答申書が提出されました

12月4日、旧青生野小学校の利活用について廃校利用検討委員会から大樂村長へ答申書が提出されました。村は答申を受け、今後の廃校の活用方法を決定しました。

問村総務課企画情報係☎49-3111





旧青生野小学校には記念碑が設置されました

今後の旧青生野小学校

校舎　区の集会施設として利用する。2階のオープンスペースは地域の子どもたちが利用できるよう、現在の本や運動器具を備え付けておく

校庭　駐車場として整備する

体育館　村民体育館として位置付ける。災害時は避難施設とし、平常時は区の体育団体で利用する

物置　解体・撤去する

グラウンド　村民グラウンドとして位置づける。周辺草刈りなどの維持管理業務は村からの委託事業とする

村奨学基金奨学生を募集

村教育委員会は、次のとおり鮫川村奨学基金の奨学生を募集します。

募集期間　平成31年2月15日(金)～3月29日(金)

応募資格　▼品行が正しく、学術に優れ、体が強健である▼鮫川村に引き続き5年以上住んでいるか、住んでいたことがある▼高等学校、高等専門学校、大学などに在学または今春入学予定の人▼経済的理由により修学が困難と認められる▼国や他の団体から同種類の奨学金の貸与または給与を受けていないこと

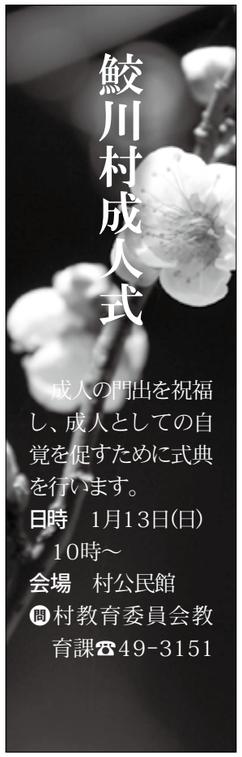
貸与月額　▼高等学校・各種学校（1～3年）…2万円以内▼高等専門学校…5万円以内（3年までは2万円以内）▼大学および大学・短期大学・専門学校…5万円以内

貸与期間　平成31年4月から、在学する学校の正規の修学期間

奨学金の償還　▼貸与は無利子で、卒業後6カ月から毎月、10年以内に償還すること（全部または一部を一時償還することができます）▼大学および大学院を卒業後、鮫川村に居住し、農林水産業または保健、福祉、医療の向上を図るための資格を取得し、村内に10年間就業した人は奨学金の返還を免除されます。

奨学生の決定　選考委員会で願書の内容を審査し、奨学生を決定します。

問村教育委員会教育課☎49-3151



20歳になったら国民年金加入手続きを

成人式を迎えられる皆さん、おめでとうございます。皆さんにとって「年金」は「まだまだ先のこと」という認識ではないでしょうか。しかし、老後は誰にでも平等に訪れるものです。

日本に住む20歳から60歳までのすべての人は、年金に加入することが義務付けられています。すでに厚生年金や共済年金に加入している人を除き、20歳になった皆さんは、国民年金への加入手続きが必要です。年金は老後の保障だけでなく、万一の場合の障害や死亡に対する保障もしています。各種手続きを忘れずに行いましょう。



村成人式の様子(2018)

手続き方法　20歳の誕生日の1日前から手続きができます。日本年金機構から直接、本人に送付される届出用紙または役場住民福祉課住民係に備え付けの届出用紙に氏名などを記入し、届出をしてください。

保険料の納付が困難な場合　つぎの制度を利用できる場合があります。▶学生納付特例制度…学生の方で、ご本人の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予される制度です。在学証明書または学生証の写しが必要です。▶納付猶予制度…学生でない50歳未満の方で、ご本人および配偶者の所得が一定以下である場合に、保険料の納付が猶予される制度です。

問村住民福祉課住民係☎49-3112／日本年金機構白河年金事務所☎0248-27-4161



本格的な道具でそば打ちに挑戦する6年生。貴重な体験にみんな大満足でした

職人さんになってみた
鮫川小学校でそば打ち体験

鮫川そばクラブ（高野博光代表）によるそば打ち体験教室が１２月１１日、鮫川小学校の６年生を対象に行われました。今年で4年目となった体験教室。生徒たちはよく練ったそばを薄くのばし、慎重な手つきで切り分けました。できたそばを一口食べ「おいしいー！」と喜ぶ児童。そばは太さもバラバラできれいと言える出来ではありませんが、味は確かで子どもたちは大満足の様子でした。鮫川そばクラブでは年末に年越しそばも披露する予定です。

年末年始を明るく
村内５カ所でイルミネーションが点灯

今年も村内のいたるところでイルミネーションが点灯され、通る人を楽しませています。手・まめ・館の公園にもイルミネーションが設置され、１２月２３日にはさめがわdeマルシェ実行委員会によるイベントも開催されました。

ほかにも真坂農村公園（三矢会）、遠ヶ竜ふれあい公園（遠ヶ竜中山間集落協定）、山王の里（さめがわライフサポート）、関根軌道工業（水口）でイルミネーションが光り輝き、年末年始の鮫川村を明るく照らしています。



恒例の真坂農村公園のイルミネーション。今年は「新元号」と記された富士を見つめる亥の姿が光で形作られました



たくさんのプレゼントを持ってやってきたサンタさん。子どもたち一人ひとりに直接プレゼントが手渡されました

プレゼントに大喜び
こどもセンターにサンタクロースがやってきた

１２月１２日、こどもセンターに一足早くサンタクロースがやってきました。西野長寿会（薄葉正一代表）の協力のもと行われたイベント。訪れたサンタクロースに子どもたちは大喜びでした。「サンタさんは鍵のかかった家にどうやって入るんですか」「トナカイは何頭連れてきましたか」など普段聞けない質問をしたり、プレゼントをもらったり、最後はそろって記念撮影を行ったりと、子どもたちは夢のような時間を過ごしました。

午後４時になります…
冬休みの「声」は鮫川小

冬休み期間中の夕方に流れている防災無線の放送は、毎年小学生がアナウンサーを務めています。今回の冬休みの「声」を担当しているのは、鮫川小６年の志村はるなさんと森柚那さんの２人です。

１２月１７日、役場放送室で録音を行った２人は少し緊張した様子でしたが、丁寧にゆっくり話すように気を付けながら、練習通りに行うことができました。２人は「ちゃんとできて良かったです」と笑顔で感想を話しました。



録音前の志村さん（左）と森さん（右）



下は小学校1年生、上は６７歳の方までの幅広い年齢の方が参加し、健脚を競いました

１８チームが駆け抜ける
第４回舘山周回駅伝競走大会

村体育協会主催の「第４回舘山周回駅伝競走大会」は１１月２５日、宿ノ入、広畑、新宿、道少田地内を走る1周約２.７㎞の周回コースで行われ、７区間（約１０．８㎞）を子どもから大人まで懸命に走り、沿道からは大きな声援が送られました。大会には、体協レース部門、チャレンジ部門合わせて１８チームが出場。体協レース部門は中野Ａチーム（３６分２５秒）が優勝を勝ち取り、体協チャレンジ部門では、西野Ｂチーム（４３分８秒）が優勝しました。

日頃の活動成果を披露
ふる里文化芸能発表会

村ふる里文化芸能クラブ主催の「ふる里文化芸能発表会」は１１月２３日、村公民館で開かれ、文化団体や個人が日頃の活動の成果を披露しました。吟詠（ぎんじゅう）会の皆さんが堂々とした歌声で合吟を披露し、発表会が開幕。大正琴の演奏や詩吟、民謡、日本舞踊、カラオケ、コーラスなど、さまざまな芸が繰り広げられました。会場に訪れた観客からは声援と共に大きな拍手が送られ、発表者、観覧者ともに楽しい時間を過ごしました。



日頃の練習の成果を披露する演者の皆さん。会場からはなりやまない拍手が送られました



卒業して、それぞれの進路へ進む鮫川中学校３年生。いつかまたこの場所に集まることを誓います

「大きく育て」と願いを込めて
舘山公園で卒業記念植樹会

鮫川中学校３年生と鮫川小学校６年生が、１２月５日に舘山公園で卒業記念植樹会を行いました。用意された苗木は陽光桜、鮮やかな花色が特徴です。

水野春雄さん（宿ノ入）と岡部啓一さん（大塩）の指導で５本の苗木が植えられ、生徒たちは自分たちの生まれ育った証を舘山公園に残しました。生徒を代表して舟木朝陽さんが「数年後、どう育っているか楽しみです」と感想を発表しました。

歌や劇を元気に発表
こどもセンターお遊戯会

さめがわこどもセンターのお遊戯会は１２月1日、同センター体育館で開かれ、子どもたちが練習の成果を元気に発表しました。クラスごとの劇で、元気いっぱいの声と動きで役を表現する子どもたち。また、幼稚園児による歌と合奏、得意技などが披露され、子どもたちの成長した姿に保護者からは大きな拍手が送られました。

また、お遊戯会後には災害時を想定した引き渡し訓練を行い、職員、保護者ともに有事の際の動きを確認しました。



「くれよんのくろくん」では、カラフルなくれよんに扮した子どもたちが元気に演技しました

さめがわの四季の移ろいを撮る 山紫水明

鮫川村の美しい農村景観の魅力を再認識するとともに、これらを広く村外に発信するために開かれている「鮫川村フォトコンテスト」。テーマは「鮫川村の四季を感じる風景」。村内外の38人から118点の応募がありました。審査会は11月2日に行われ、村カレンダーにふさわしい入賞作品が決まりました。

特選



新しい年の朝光（ひかり）
芳賀正訓（渡瀬字江竜田）

準特選



【福島民報社賞】

今日も笑顔で
柏舘　健（いわき市）

準特選



【福島民友新聞社賞】

荒城の星
山内壮介（棚倉町）

入選



冬の風物詩
矢作武一（古殿町）



福寿草の郷
熊田行雄（鏡石町）



早苗の頃
角田駒雄（いわき市）



ヤマメさん大きくなってね
柏舘光子（いわき市）



里山染る
岩鍋庄次（白河市）



匠の華
須藤　好（赤坂西野字名下）



フラワーロード
坂本チヨ（福島市）



明日への宝人
門林泰志郎（いわき市）



秋色
佐藤　弘（西郷村）

応募総数51点・出品作品19点から特賞が決まる

アイディア特産品コンテスト

アイディア特産品コンテスト審査会は、11月9日に村公民館で行われました。今年は鮫川の食材などを生かした特産品を募集し、様々な趣向を凝らしたアイデア特産品が応募されました。

そして、特賞に選ばれたのは、雷おこしを村の大豆を使って再現した遠藤きくえさん（上耕地）の「豆おこし」となりました。

その他の受賞作品は次のとおりです。（敬称略）▼準特賞＝「豆乳レアチーズケーキ」鈴木亜希子（大塩）・円井初枝（中沢）▼ふるさと振興協議会長賞＝「大豆ふりかけ」古関陽向（棚倉）

受賞した作品は今後、アイデアを使って村農産物加工直売所手・まめ・館で、加工・販売ができるかどうか検討が進められます。



特賞を受賞した「大豆おこし」

村民【随想】リレー ―(246)

森田　芳枝

鮫川に住んで思うこと

鮫川に移り住んでもうじき6年になります。始めは知り合いもいなくて不安でしたが、地域の皆さんの温かさに触れ、今ではすっかり慣れて家族みんな楽しく過ごしています。

「継続は力なり」

私が鮫川に住んで感じたことです。鮫川には何年も続いている行事がたくさんありますが、一つのことを何年も続けていくのは大変なことだと思います。地道な努力を積み重ね、一つのことに村全体で協力し合い、参加する姿勢は大変素晴らしいことと思います。

また、情の温かさも魅力の一つだと思います。私は1年前に村の体協に入り、スポーツを通してたくさんの方と知り合うことができました。皆さん親切で、とても良くしていただいています。内気な性格な私ですが、スポーツを通じて自分の視野も広がりました。

引っ越してきた時赤ちゃんだった長女も来年は小学生で、次女も幼稚部に移行します。不安なこともありますが、家族で支えあって笑顔で過ごしていきたいと思います。また、今後も村の行事に積極的に参加して村の発展に貢献していくとともに自分の行動の幅も広げていければと思います。■

次号は、関根かおりさん(西山字大平)にバトンタッチ!



もりた・よしえ●1985年7月生まれ。小針歯科医院勤務、趣味はバレーボールとインディアカ。好きな言葉は「継続は力なり」。西山字水口、33歳。

俳　句

柚子木焚く吾妻嶺白く雪うさぎ　中井　恒峯

自身禍の絶えぬ列島冬寒し　北條素人坂

うやむやに首相案件年を越す　松本　精一

風強し今夜は寄せ鍋熱燗で　前田　縫子

てっぺんの一つ残して柿をもぐ　山本　恵子

時雨るるや赤児泣く泣く神の声　斎須　信子

小春日や庭にちょろちょろトカゲの子　鈴木　米子

舘山の紅葉栄枯に拘らず　山本五十鈴

短　歌

朝日差す雑木林に冴えわたるモズの高鳴き晩秋の空　鈴木イミ子

首伸ばし足を構えて白鷺が餌を狙いてそろり近づく　須藤　幸子

新年の朝日差し入る床の間にお茶くむ二人幸せの光(はな)　佐藤　春枝

色あせし道は過去なりさわやかな迎える新年希望に満ちる　石井　幸子

過ぎ来たる道に迷いの無き如く新たなる道しかと踏みだす　須藤シツエ

毎日をやっと暮らせる此の頃は何も出来ずに世話になるのみ　前田喜三子

病み上がり老いて生きゆく難しさデイサービスに通う身となり　藤田千代子

亡き夫の知らざる齢(とし)をわが生きて末の娘の婚に出会えり　関根キヌ子

年老いて孫の笑顔にわらわされ福の神かと感謝するなり　赤坂　和子

金色波コンバインの音も絶え紅葉散りて舗装道舞飛ぶ　矢吹　一二

華やかに文化の花を咲かせつつ年の瀬迫る公民館も　北條　平

鮫川職場探訪記 -第18回- 舟木建材株式会社





1_現場のさまざまな要望に応えるために少しずつ増やした大型車両。現在はダンプやユニック、トレーラーなどの車両を運用しています／**2**_舟木建材株式会社は渡瀬から青生野へ続く国道289号線の工事現場でも活躍しています

現場のサポートなら任せてください

舟木建材株式会社は、道路をつくるために必要な砂利やアスファルト合材、工事現場で発生する残土の運搬などを行っている会社です。平成25年8月に個人事業から株式会社に移行し、お客さまのニーズに応えながら少しずつ事業を拡大してきました。今ではダンプだけではなく、トレーラーやユニックなど多数の大型車を駆使して、さまざまな現場で活躍する会社へと成長しました。

代表の舟木敏夫さんは大工から転身し、一代で今の会社を築きました。息子さんも事業に加わり一層仕事に熱が入ると言います。「私たちの仕事は信用が一番大事。いつも一緒に仕事をしてくれる皆さんに助けてもらっているおかげで、今の会社があるのだと常々感じています。これからも安全第一に、いただいた仕事に責任をもって取り組んでいきます」と話す敏夫さん。最近では復興に向けた業務として、フレコンの運搬なども行っており、安全面には特に気を付けているそうです。

大型車両を操り走る日々。車が好きな人や運転が好きな人にはおすすめの職場です。

代　表　舟木　敏夫
従業員　21名
所在地　大字赤坂西野字石ノ花
電　話　49-3343

やってみっぺ
Let's try it !

鮫川の冬も本番を迎えようとしています。朝晩など冷え込む日も多くなってきましたね。今回はそんな寒い冬、寒い鮫川だからこそできる郷土料理「凍み餅」を紹介します。

凍み餅とは

凍み餅は福島県をはじめ、東北地方に伝わる伝統料理です。地域によって作り方はさまざまですが、村では餅米にうるち米、ごぼっぱ（オヤマボクチ）を混ぜる作り方が一般的です。1月の中旬頃から2月初めの寒い晩に餅を干し、凍らせたものをさらに3～4週間、寒風にさらして凍み餅ができます。凍み餅は普通の餅に比べて調理後も固くなりにくく、春の農繁期には作業の合間に食べるおやつとしても親しまれてきました。

凍み餅の調理方法は「蒸す」「焼く」「油で揚げる」などさまざまです。甘くしたじゅうねんたれや砂糖醤油、きなこをかけて食べることが多く、子どもの頃からなじみ深い味はまさにふるさとの味ではないでしょうか。


凍み餅づくりの風景（フォトコンテスト入賞作品より）。以前はどこの家庭でも作られる郷土料理でした

やってみっぺ Let's try it ! 7

寒さを活かした郷土料理

凍み餅とは

監修
関根のぶ子さん（余所内）



凍み餅は村の郷土食です。これから先もずっと食べてもらうには、作り方を知る後継者も必要です。興味ある方は気軽に聞いてください。何でも教えます。

作る家庭が減っています

最近は、手間がかかったりごぼっぱの入手が難しくなったりしたことから、凍み餅を作る家庭が少なくなりました。

関根のぶ子さん（余所内）は20年ほど前、知人が作ってきた凍み餅を食べて懐かしい気持ちになったと言います。「当時は私の集落でもほとんど凍み餅を作らなくなっていた頃でした。それがきっかけで、村の郷土食をこれから先もずっと食べてもらいたいと願い、凍み餅づくりを始めました」と微笑みます。

ふるさとの味に目を向けて

学校給食にも凍み餅を提供し、子どもたちがふるさとの味に触れる機会を作っている関根さん。「小さい頃に食べた味は大人になっても忘れません。いつか村の子どもたちが興味を持って凍み餅づくりに挑戦してくれると嬉しいです」と話します。

今は全国のどこの食べ物でも簡単に手に入る時代です。だからこそ、地元に根付いた、村でしか食べられないものに、もう一度目を向けてみてはいかがでしょうか。


甘口のじゅうねんたれや砂糖醤油で食べる懐かしい凍み餅の味

Check!



ごぼっぱ（オヤマボクチ）

凍み餅の材料の一つ「ごぼっぱ（オヤマボクチ）」は、以前は村のいたるところに自生していたそうです。栽培が難しいため、今では貴重なものになっています。

ごぼっぱは非常に繊維質で、もちの形が崩れないための「つなぎ」の役割を果たします。地方によっては、同様に繊維の豊富なヨモギを使うところもあります。

湯座建設の社長になる


湯坐斗喜也（ときや）さん

将来はおじいちゃんの後を継いで、湯座建設の社長になって、鮫川村の暮らしを良くしていきたいです。3年生の頃から仕事場にも行くようになりました。会社にはたくさんの機械がありますが、僕は除雪車が一番好きです。朝早起きして一緒に除雪したこともあります。積もっている雪がきれいになくなっていく様子がすごくて感動しました。真剣な表情で仕事をするお父さんやおじいちゃんのように、僕もいつかなりたいです。

水族館の職員になりたい


芳賀　諒斗（りょうと）君

もともと生き物が好きで、将来は生き物に関わる仕事をしたいです。特に水生生物は、古い生態の特徴などを持っていて、神秘的でとても興味があります。生き物の体の構造にも興味があり、図鑑などで勉強しながら解剖の実験を行ったこともあります。

鮫川村にはたくさんの種類の生き物が身近にいるので、とても楽しいです。村の豊富な自然を壊さないように、いつまでも守ってほしいと思います。

教育長コラム

「愛着行動」これは育児・教育関係の職業に従事するための専門用語です。赤ちゃん誕生とともにすること
・母子が視線を合わせる
・赤ちゃんを抱いて
・ことばをかける
・ほっぺ、肌などに触れる

このような愛情を示すことにより、母子関係を刷り込んでいきます。赤ちゃんが母親を慕い、母親も赤ちゃんの表情を見ながら愛情を示そうとしています。ヒトの子として生を受けたものが「人間の子」として育つよう大事にされてきました。逃したらまたと得難い好機なのです

学問の分野では、脳科学、発達心理学、児童虐待など、さまざまな問題を研究調査しています。本村の努力点を4つあげておきます。
・会話の多い家庭にする
・使用する語彙（ごい）力を多くする
・絵や文字に親しむ機会を作る
・共有型・納得型のしつけが望まれます

奥貫　洋

学校だより（170）

鮫川小学校編

鮫川小学校の体験学習
自然とのふれあい

鮫川小学校では、さまざまな体験学習が行われています。

▼1年生は、自分たちで育てたサツマイモのつるに思い思いの飾りをつけてリースを作りました。

▼2年生は、水野きよ子さんを講師にお招きして、木工教室を行いました。さまざまな木の実や枝を駆使して、いろいろな生き物を工作し、村の文化祭にも出品しました。



▼3年生は、大豆加工体験教室を行いました。大豆から作られる、納豆・豆腐・豆乳プリンを作り自然の恵みを感じることができました。

▼4年生は、ゆうきの郷で間伐材がどのように活用されているのかを学び、実際に薪割りを体験しました。

▼5年生は、森林間伐教室を実施し、講師の鈴木寛重さんから、森林の大切さについて紙芝居で教えていただいた後、舘山公園に場所を移して森林の役割について学びました。



▼6年生は、そば打ち体験を行い、さめがわ和紙の紙すき体験なども予定されています。

こうした体験を通して、鮫川の自然やその恵みを実感し、これからの鮫川村を考えることができる感性豊かな児童の育成を目指しています。

読書に親しむ活動

12月4・5日の2日間にわたり、読み聞かせボランティアの方々による「読み聞かせ集会」を開催しました。素敵な物語に効果音などを取り入れた、魅力的な読み聞かせの世界に浸りながら、子どもたちは聞き入っていました。

（文・写真／鮫川小学校）

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

第16回
ここから、いっしょに
修明高校鮫川校だより

SCHEDULE
始業式…1月15日(火)
インターンシップ…1月22日(火)～24日(木)
3学年末考査…1月23日(水)～1月28日(月)
Ⅰ期選抜 …1月31日(木)

アクティブ・ラーナーを目指して、研鑽に励んでいます



本県では今、正解のない問いの解決に向けて自ら学び、行動する「アクティブ・ラーナー」の育成が喫緊の課題となっています。また、そのような生徒を育てるために、教員自身がアクティブ・ラーナーとなって授業改善に取り組むことが求められています。本校でも、一週間にわたり先進校（岩手県立盛岡第三高等学校）の視察に出かけた教員による報告会を過日行い、教員が目指すべき姿、取り組むべき内容を確認しました。鮫川校では、時代が求める教育をこれからも追究し続けます。

旅立ち -私の進路を紹介します-

祖母の背中を見て看護の道へ



白河医師会白河准看護学院進学
芳賀 すみれさん
（鮫川中出身）

私は将来、看護師として老人介護施設で働きたいと考えています。それは、ここまでの日本を作ってきてくださった人生の先輩方に恩返しがしたいと考えているからです。

施設の入所者の方々の安全を守れる看護師を目指して、医療に関することはもちろん、人との接し方、コミュニケーションの取り方などについて、看護学校で積極的に学びたいと思っています。

文・写真／修明高校鮫川校
TEL 49-2029 FAX 49-3109
E-mail shumei-h-samegawa@fcs.ed.jp

【健康小話】
保健師のつぶやき
- For Your Health -

-第２回-
【おやつ編 ②】

おやつを食べる最適時間
魔法の時間と緑茶のハナシ



１日の中で、体に脂肪が蓄積しやすい時間帯は午後１０時から午前２時、一方で脂肪が蓄積しにくい時間は午後３時と言われています。ＢＭＡＬ１（ビーマルワン）というたんぱく質の働きが弱まる魔法の時間帯です。おやつを食べたい方は、３時にリフレッシュすると効果的です。補食として空腹を満たしたい場合は、ゆでたまごやチーズのようなたんぱく質やナッツ類、夕食が遅くなる場合はおにぎりなどを食べて、夕食時にはおかずを食べるというように分けて食べることもドカ食いを予防し、血糖値を一気に上げない工夫になります。

次に飲み物ですが、緑茶の苦み成分のカテキンは、糖質の吸収を抑制し、血糖値の上昇をゆるやかにする働きがあると言われています。食事やおやつ時にはぜひ、湯のみで緑茶を飲みましょう。副交感神経も刺激され病気に対抗する免疫力もアップするという報告もあります。

疲れがたまっているという方は、お正月に食べる郷土料理の「イカにんじん」に使用するスルメがおすすめです。表面の白い粉はタウリンというアミノ酸で疲労回復に役立ちます。ゆっくり、しっかり噛むことで満足感も得られます。１日の中で落ち着いてのんびりできる時間を作りましょう。

緑のふるさと協力隊・松村和奏さんの鮫川体験記



いろいろな野菜でお菓子作りに挑戦しています。ジャガイモのスイートポテトや小松菜のどら焼きなどを試作しました。にんじんクッキーは子どもたちにも人気でした

facebookページ「緑のふるさと協力隊 in 鮫川」でも活動を紹介しています！

facebook



あけましておめでとうございます。協力隊としての活動期間も残りわずかとなりましたが、本年もよろしくお願いいたします。

12月には、初めてこんにゃく作りを経験しました。生のこんにゃく芋をすりおろし、ソーダを加え、火にかけて練る、一連の工程はとても新鮮なものでした。柔らかくておいしいこんにゃくができて良かったです。文化祭でのクッキー配布や児童クラブで子供達とお菓子作りなども行いました。

現在は、２月に小学校６年生を対象に行う野菜を使ったお菓子作り実習に向けて、試作・調整を行っています。企画を立てたり、調整したりする事にはまだまだ慣れませんが、頑張っていきたいです。

同時に、活動報告会の準備も少しずつ進めています。私が鮫川村で生活してきて驚いたことや発見したことなどを伝える発表に出来ればと思っています。皆さんに質問しに行ったりする機会も多くなると思うので、その際はよろしくお願いいたします。

さめがわ１年生
～ ゼロから始める鮫川生活 ～

緑のふるさと協力隊 村の輝く 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊活動報告
永沼ちひろ 隊員



実りの秋、各地の収穫作業にも参加！昔ながらの方法で大豆の脱粒も行いました

ずっと準備を重ねてきたおもてなし講座を12月14日、開催することができました。「どうしたら村のみなさんに参加してもらえるか」、「役立つ内容になるか」、準備をするなかで一番に意識をした部分です。チラシにも工夫を重ねましたが、なかなか思うように参加者を集めることができず、認知されることの難しさを実感しました。それでも当日には、来村者の受入れに携わる機会のある方など11名に参加していただきました。

さて、今回の講座はエゴマ鶏を使った料理教室。エゴマ鶏は村の特産品として馴染みはありますが、歯ごたえがあるため敬遠されがちです。

「せっかくの特産品なのにもったいないな」と思い、皆さんの新しい発見につなげるためにテーマに選びました。講座を終えて「料理のレパートリーが増えた」などの声に私自身も大変嬉しく思います。

次回講座テーマは「グリーン・ツーリズムと地域連携」。１月に開催する予定です。



エゴマ鶏は、ゆっくりと火入れをするなど、少しの工夫で柔らかくおいしい出来上がりとなりました

今月のちひろのイチオシ
秋の鮫川村モニターツアー



１１月２４日に、「鮫川の食を楽しむ会」の開催に合わせたツアーを実施しました。東京都北区から４０名の方が参加くださり、鮫川産の食材を使用した料理を堪能しました。そのほか、紅葉の強滝を散策、見頃の木々もまだ見られ、担当者としては一安心でした。今回のツアーを通して得られた参加者の声を、今後の取り組みへと活用していきます。

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

案内

申告書作成会場を開設

白河税務署は、次のとおり申告書作成会場を開設します。混雑が予想されますので、時間に余裕を持って来場してください。

開設期間　平成31年2月18日（月）～3月15日（金）
※土・日を除く

開設時間　9時～16時

会場　白河市産業プラザ人材育成センター2階「講堂」（白河市中田140）

その他　開設前は、税務署内を含め申告書作成会場を設けておりませんので、開設期間中に上記会場をご利用ください。

電子申告（e-Tax）もご利用ください

平成31年1月から電子申告の利用手続きが便利になり、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用して、税務署で発行を受けたIDとパスワードのみで電子申告ができるようになり、さらにスマホでも申告書の作成ができるようになりました。ぜひ、この機会にIDとパスワードを取得して、電子申告での提出をお願いします。

マイナンバーを忘れずに

所得税などの確定申告書には、①マイナンバーの記載②本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。※マイナンバー通知カード（紙製）の場合は、運転免許証なども必要です。

医療費控除の適用を受けられる方へ

医療費控除またはセルフメディケーション税制の適用を受ける場合には、領収書の添付の代わりに、「医療費控除の明細書」の添付が必要となります。なお、医療費などの領収書は、自宅で5年間保存する必要があります。

問白河税務署☎0248-22-7111

国民年金基金制度 ゆとりある老後のために

国民年金基金は、自営業の方やその家族、学生などの国民年金の第1号被保険者の方々が、ゆとりある老後を過ごせるように国民年金に上乗せする公的な年金制度です。

65歳から生涯受け取ることができる終身年金が基本ですので、長い老後の生活に備えることができます。

また、掛け金は全額が課税所得から控除できるので、所得税と住民税が軽減されます。万が一早期に亡くなったとき、家族に遺族一時金が支払われますので、掛け捨てになりません。興味がある方は、ぜひお問い合わせください。

対象　国民年金に加入している20歳～60歳の方、60歳～65歳の国民年金に任意加入している方

問福島県国民年金基金☎0120-65-4192

みんなで育てる～里親入門講座～

福島県県中児童相談所は、「みんなで育てる～里親入門講座～」を開催します。▼里親ってなんだろう▼親と暮らすことのできない子を育てたい▼養子となる子を育てたい▼赤ちゃんを短期間なら預かることができるなど、里親・子どもの福祉について関心がある皆さまのご参加をお待ちしています。

日時　2月4日（月）10時～11時30分

場所　郡山市中央公民館（郡山市麓山1-8-4）

申し込み　1月25日（金）までに福島県県中児童相談所または村住民福祉課までお問い合わせください。

問福島県県中児童相談所☎024-935-0611／村住民福祉課☎49-3112

最低賃金の改正について

平成30年10月1日に福島県最低賃金が改正されましたが、福島県特定（産業別）最低賃金も改正が決定されました。5業種のうち4業種（非鉄金属製造業を除く）の最低賃金が順次発効されます。使用者の方も労働者の方も今一度、確認をお願いします。

問福島労働局労働基準部賃金室☎024-536-4604

防災タウンページ

NTTタウンページ（株）は、日ごろからの備えや災害時の行動のポイントを盛り込んだ「防災タウンページ　福島県版」を発行します。付録として「公衆電話＋避難所マップ」も付いていますので、災害発生時はもちろん、いざというときに備えて確認しておきましょう。「防災タウンページ」は、「タウンページ」と一緒に1月上旬から1月末にかけて全住戸・全事業所に届けられます。

問タウンページセンタ☎0120-506309

毎月8日は「歯の日」です

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

1月の担当は――

こどもセンター

関根爽司（そうし）くん、**須藤叶悠（かなで）**くん、**中川西叶翔（かなと）**くん、**須藤南（みなみ）**ちゃん、**森田優渚（ゆな）**ちゃん



村関係施設の年末年始営業日

	29日（土）	30日（日）	31日（月）	1日（火）	2日（水）	3日（木）	4日（金）
役場	※1						○
診療所	休	休	休	休	休	休	○
図書館	休	休	休	休	休	休	○
トレセン	休	休	休	休	休	休	○
手・まめ・館	○	○	○	休	休	休	○
手まめcafe	○	○	○	休	休	休	○
さぎり荘	○	○	休	休	※2		休

※1）8時30分～17時までは、日直が対応します。死亡届など緊急を要するものは受理できますが、証明書などの発行はできません。
※2）臨時営業をします。利用時間は14時～19時までです。（18時30分までに入館してください）

薪の買い取り実施中



村豊かな土づくりセンターゆうきの郷土（さと）では、今年も薪の買い取りを行っています。

薪の規格　村内の山で伐採後半年以内の薪 ▶太さは小口6～30cm程度 ▶長さは90cm ▶屈曲の少ないもの ▶腐敗した薪や廃ほだ木は不可

買い取り価格

種別	価格（10kgあたり）
ナラ・クヌギ	60円
上記以外の広葉樹	50円
針葉樹（スギなど）	30円
規格外	20円

その他　買い取り方法の詳細はゆうきの郷土へ直接ご確認ください。

問鮫川村豊かな土づくりセンター ゆうきの郷土（さと）☎49-3474

■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

災害時対応電話（停電・災害時）
49-3302・49-3303

住民福祉課	49-3112
農林商工課・農業委員会	49-3113
地域整備課	49-3114
議会事務局	49-3115
出納室	49-3116

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848
ゆうきの郷土	49-3474
さぎり荘	49-2205
ひだまり荘	49-3600
すまいる	57-6901

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月のあおぞら号昼バス運行日
1月23日、24日、25日、28日、29日、30日

■今月の納税
後期高齢者医療保険料（第6期）
※納期限：1月31日（木）

お誕生

11月届け出分

お誕生はありませんでした

おくやみ

11月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
中内	中川西良男	11.1	66歳
西	鈴木 新市	11.4	68歳
赤柴	関根千恵子	11.4	85歳
大塩	山本 登	11.7	69歳
火打石	佐藤 ミツ	11.10	77歳

人の動き

12/1現在・（ ）は前月比

人口	3,389人	（−6）
男	1,707人	（−3）
女	1,682人	（−3）
世帯	1,101戸	（±0）

寄付寄贈

11月受理分・敬称略

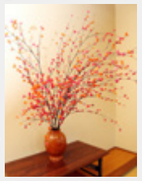
■**社会福祉事業のために[金員]**…鈴木博勝（西） 関根マリ子（赤柴） 山本洋子（東京都） 佐藤征一（火打石） 中川西典子（千葉県）

■**ひだまり荘へ[紙おむつ等]**…阿久津伸安（折戸） 山本さち子（大塩） 鈴木榮（鍬木田）

■**ひだまり荘へ[フェイスタオル等]**…湯坐文子（新宿）

■**その他村長が必要と認める事業のために**…齊藤広幸（福島市） 鈴木博勝(西)

■**ほっとはうすへ[花飾り]**…鈴木ユキ子（田中）



ほっとはうすへ寄贈された手作りの花飾り

●おわびと訂正

本紙13ページ「アイディア特産品コンテスト」で誤りがありました。おわびして訂正します。

（**正**）円谷初枝 （**誤**）円井初枝

（**正**）豆おこし （**誤**）大豆おこし

編/集/後/記

■本号で広報さめがわは７７７号を迎えました。新年最初の号でラッキーセブンとは、縁起がいいですね。表紙は「7」歳の子どもたちに協力していただきました。今年も広報さめがわをよろしくお願いいたします（西橋）

January 1 暮らしのカレンダー

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
6 ㊡木村医院(矢祭町)☎46-3528 ●消防団出初式 第1日曜日は環境美化の日	**7**
13 ㊡あらまちクリニック(棚倉町)☎33-8018 ●第71回鮫川村成人式…10:00～[公]	**14** 成人の日 ㊡つちやクリニック(塙町)☎43-2250
20 ㊡金澤医院(矢祭町)☎46-2312 ●文化財防火デー火災防御訓練	**21**
27 ㊡和田医院(棚倉町)☎33-2012 ●第20回村インディアカ大会	**28** ●昼バス運行日[あ]
3 ㊡大木医院(棚倉町)☎33-2424 第1日曜日は環境美化の日	**4**

◆村国保診療所送迎車運行日（年末・年始の休診日は運行しません:p.21参照）

曜日	月	火	水	木	金
地区	村内全域	赤坂西野 西山	赤坂中野 東石	青生野	富田 渡瀬

※送迎を希望する人は、前日までに申し込んでください

問村国保診療所☎49-2028

◆乳幼児健診日

3～4カ月児健診※	1/28㊊
10カ月児健診※	1/17㊍
1歳6カ月児健診	1/31㊍
3歳児健診	2/21㊍

※お母さんの口腔健康相談も行います

問住民福祉課健康係☎49-3112

Book 図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎29-1150

第3土曜日は 家族一緒に読書の日



もう怒らない! これだけで子どもが変わる魔法の"ひと言"

若松亜紀 著、学陽書房

毎日、がみがみイライラ怒りながら繰り返してしまうことばを魔法の"ひと言"に変えるだけで、子育てはびっくりするほど楽ちんに。考える力、個性や自信を伸ばしながら、子どもをキラキラ輝かせてくれます。

火	水	木	金	土
1/1 元日 ㊡車田病院(塙町)☎43-1019	**2** ㊡おおひら整形外科クリニック(棚倉町)☎33-9468	**3** ㊡塙厚生病院(塙町)☎43-1145	**4** ●官公庁仕事始め	**5**
8 ●幼稚園第3学期始業式 ●小・中学校第3学期始業式	**9**	**10**	**11** ●やまゆり保育室[こ] ●小正月だんござし[こ]	**12**
15	**16** ●やまゆり乳児室[こ]	**17** ●東電個別相談会…9:30～[公]	**18** ●心配ごと相談会…13:00～15:00[公]	**19**
22	**23** ●やまぶきの会[保] ●おはなしの森…16:00～[図] ●昼バス運行日[あ]	**24** ●昼バス運行日[あ]	**25** ●年長児保育参観日[こ] ●昼バス運行日[あ]	**26**
29 ●昼バス運行日[あ]	**30** ●昼バス運行日[あ]	**31**	**2/1** ●やまゆり保育室[こ]	**2**
5	**6**	**7**	**8**	**9**

㊡＝休日当番医 [公]＝公民館 [図]＝図書館 [保]＝保健センター [ト]＝農業者トレーニングセンター [こ]＝こどもセンター
[あ]＝村営バス「あおぞら号」

◆1・2月の筋力づくり教室

開講時間 10：00～15：00[保]

Aコース（渡瀬・富田・赤坂中野）	1/8㊋、1/22㊋
Bコース（渡瀬・青生野）	1/9㊌、1/29㊋
Cコース（赤坂東野・石井草）	1/11㊎、1/30㊋
Dコース（西山）	1/15㊋、2/5㊋
Eコース（赤坂西野・赤坂中野）	1/16㊌、2/6㊌

問住民福祉課福祉係☎49-3112

◆村内施設営業時間

施設名	営業時間	定休日
村国保診療所	9：00～12：00 14：00～17：00	水曜午後 土・日・祝日
村図書館	9：30～18：00	月曜・祝日
村農業者トレーニングセンター	9：00～22：00	月曜・祝日
村農産物加工・直売所 手・まめ・館	9：00～18：30	第一水曜
手まめcafe	10：00～18：00	水・木曜
村民保養施設さざり荘	9：30～20：00	水曜
村民の店 すまいる	9：00～19：30 土曜日は18：30まで 日・祝日は18：00まで	-

※年末・年始の営業日は21ページを参照してください